

株式会社 京都銀行

京都市下京区烏丸通松原上る
郵便番号600-8652

「京銀未来ファンド2号」第20号案件への投資について ～ “痛みの強さ” の見える化を目指す「P a M e L a株式会社」へ投資～



京都銀行（頭取 土井 伸宏）が、グループ会社の京銀リース・キャピタル株式会社（代表取締役社長 竹中 伸一）と共同で設立した「京銀未来ファンド2号」は、第20号投資案件として、「P a M e L a株式会社」へ投資いたしました。これにより「京銀未来ファンド1号」および「京銀未来ファンド2号」での投資先は、35社となりました。

「P a M e L a株式会社」は、主観的な感覚である痛みの強さを、脳波をもとに、人工知能を用いて客観的に測定・評価する医療機器の開発を行う大阪大学発のベンチャー企業です。同社が開発に取り組む「痛み判定補助システム」は、医師・患者双方で痛みの強弱を共有できるほか、患者本人が意思表示できない場合でも痛みの把握が可能となることから、“痛み治療の新標準”として期待されています。

京都銀行グループでは、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業、中小企業のほか、事業承継ニーズを有する中小企業等への投資を行い、持続可能な経済成長の実現に向けて、地域の発展と成長に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

企業名	P a M e L a株式会社
代表者	代表取締役 長谷川 新
所在地	大阪府吹田市山田丘1-3 大阪大学生命システム棟6階E601
設立	2016年2月
事業内容	脳波から痛みを客観的に定量化する医療機器の開発

2. 投資額

50,400,000円

3. 投資について

本件投資により、「P a M e L a株式会社」は、脳波から痛みを客観的に定量化する医療機器の開発を行う。

4. 京銀未来ファンド2号の概要

名 称	京銀輝く未来応援ファンド2号投資事業有限責任組合 (略称：京銀未来ファンド2号)
投資対象	当行営業エリア内に本社を置く企業で、独自技術や新規性のあるビジネスモデルを有し、将来成長が期待できる創業企業やベンチャー企業・中小企業等
出 資 者	無限責任組合員（GP）：京銀リース・キャピタル株式会社 有限責任組合員（LP）：株式会社 京都銀行
ファンド総額	20億円
当行出資額	19億80百万円
設 立	2019年2月25日
存続期間	10年（ただし、合意により2年間の延長可能）

以 上

京都銀行グループでは、従来から「地域社会の繁栄に奉仕する」という経営理念に基づいた企業活動を行ってまいりました。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践であるSDGs達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースにその目標であるSDGsのアイコンを明示しております。

【SDGs】2015年9月に国連で採択された、経済・社会・環境のあり方についての2030年までの世界共通目標。17のゴールと169のターゲットで構成されている。

